

広報 いずも

第67号 平成19年(2007)12月27日発行

斐伊川に架かる“からさで大橋”でのテープカット。
 「からさで」という名称は、神在月に出雲に集まった全国の
 神様をお見送りする神事から名付けられました。
 (12月2日 大津町)



出雲バイパス全線開通



全線開通により、
期待される効果は



その1 国道9号の交通量が約4割減少



その2 出雲市街地の通過所要時間が約16分短縮
 斐川町太才交差点～神西小学校入口交差点間が
 約35分から約19分に



その3 バイパス沿線の活性化

※出雲バイパスと国道9号の通行が安定するまでには、しばらく時間がかかります。

12月2日、国道9号の交通渋滞の緩和などを目的として整備を進めてきた国道9号出雲バイパスが全線開通しました。

出雲バイパスは、斐川町大字富村から出雲市街北部を通り出雲市芦渡町へ至る全長8.7kmの道路で、総事業費は約680億円。

昭和49年に事業が始まり、平成7年11月から工事に着手。平成10年6月から順次供用を開始し、県立中央病院南側の東西にのびる2.8kmは通行可能でしたが、このたび、この区間からさらに東に3.1km、西に2.8kmが完成し、全線開通しました(右図参照)。

当日は、開通式典や自動車パレードなどの祝賀行事を行い、盛大に祝いました。



目次

2007年を振り返る	2～3
4月からごみ手数料を改定します	4～5
12月定例会市議会報告	6
お知らせコーナー	14～15